

## 領家民泊協力会(愛知県チーム)



仁井田寿監督。「歓迎のセレモニーなどしていただき、今までにない歓迎を受け、地域の人の温かさを感じました。朝、霧があって驚きましたが、高梁市は川がきれいでとてもいい所です。また来たいと思っています」



歓迎会では、三吾明さん(川上町七地)が領家と地頭で民泊する選手の記念品にト、作った饗庭焼のコーヒーカーツプが選手一人ひとりにプレゼントされました。試合には揃いの帽子をかぶり太鼓をたたいて応援し、愛知県チームは見事優勝しました。



## 平川民泊協力会(福島県チーム)

選手団を出迎えた沿道には、地域住民とともに「牛」がお目見え。牛の背中には色あざやかな花飾りをあしらった「休牛魂」の文字が描かれた油単が掛けられ、選手団は車窓から大喜びしていました。歓迎会では、岡崎ヨシコさん(97歳)が、この日のために作った「手づくりのわらじのお守り」をプレゼントし、備中神楽の舞も歓迎に華を添えました。選手団からは「試合をしながらも平川に来られただけで大満足」との声も。試合後、選手団が岡崎さん宅を訪れてふれあうなど、思い出多い国体となりました。



がんばれもあ〜!

気合のふくしまカット



岡崎さん宅を訪れました



## 田原民泊協力会(鹿児島県チーム)



バッチリ決まった人文字



幻想的な備中大鼓の演奏で始まった歓迎会。応援団によるステージでは、「ガンバレレカゴシマ」の人文字やダンスの披露があり、選手もステージに上がるなど、一緒に盛り上がりました。最後に、応援の練習成果の発表があり、選手一人ひとりの名前を大声で呼びエールを送っていました。





# 地域で応援!!

# がんばれ~!!

なりわ運動公園野球場では高等学校野球（軟式）競技が開催され、全国各地から10校が出場し熱戦が繰り広げられました。

この大会では、出場した10校のために成羽町内の各地域10団体が応援隊を結成。この応援隊は50人で結成されており、各応援隊でそれぞれの高校用に横断幕（たて0.9m×よこ5~8m）を作製。メガホンや太鼓等、思い思いの応援グッズを用意し、球場で繰り広げられる高校生たちの熱戦に大きな声援を送っていました。

また保育園からも園児が応援に参加。かわいらしい応援が送られていました。応援隊の声援を受けた高校球児たちからは、「こんなに大勢から応援を受けたのは初めて」、「地元の人たちから、たくさんの声援を受けて心強かった」との声が聞かれました。



※横断幕の配置はイメージです。応援隊とは一致していません。